《ご案内》

東日本大震災から12年、いま、語り部として歩き始めた

只野哲也さんの「未来を拓く」物語

・2023年 3月30日（木）10:00～12:00

・お話：只野　哲也さん（TEAM 大川未来を拓くネットワーク代表）

・オンライン（Zoom）・後日録画動画配信（事前申し込みの方のみ）

学校管理下のもと、震災で児童 74 人と教職員 10 人が犠牲になった宮城県石巻市の大川小学校。震災直後からチャイルドライン「もしもしキモチ」では、日本財団の助成を受けてこの地域の方々との交流を持ってきました。避難中に助かった４人の児童のうちの一人、当時５年生だった哲也さんは震災直後からマスコミの取材にも応じて来ました。たくさんの大人たちの中で、傷つくこともあったのでは…

私たちがチャイルドラインとして子どもの声を聴く活動をはじめて 22 年、彼が仲間たちとともに取り組み始めた、震災を語り継ぐ活動「未来を拓く」について、哲也君の思いを聞かせてほしいとこの講座を企画しました。

「なぜわが子は犠牲に」 遺族の心情と葛藤

3・11 大川小 津波裁判巡る映画公開

あんしん 安全

映画「生きる 大川小学校津波裁判を闘った人たち」の一場面

© 2022 PAO NETWORK INC.

3月1日付 西日本新聞 津波裁判を記録した映画「生きる」紹介記事より

●主　催：（特非）チャイルドライン「もしもしキモチ」（認定ＮＰＯ）

●参加費：１,０００円（ＴＥＡＭ大川への寄付金）

●申込み・お問い合わせ：チャイルドライン「もしもしキモチ」

TEL：０９２－７３４－１５４０　　Mail：kimochi２@coral.ocn.ne.jp

HP：https://moshi2.jp/

https://bit.ly/3ZrKuj2

お申込みはこちらから